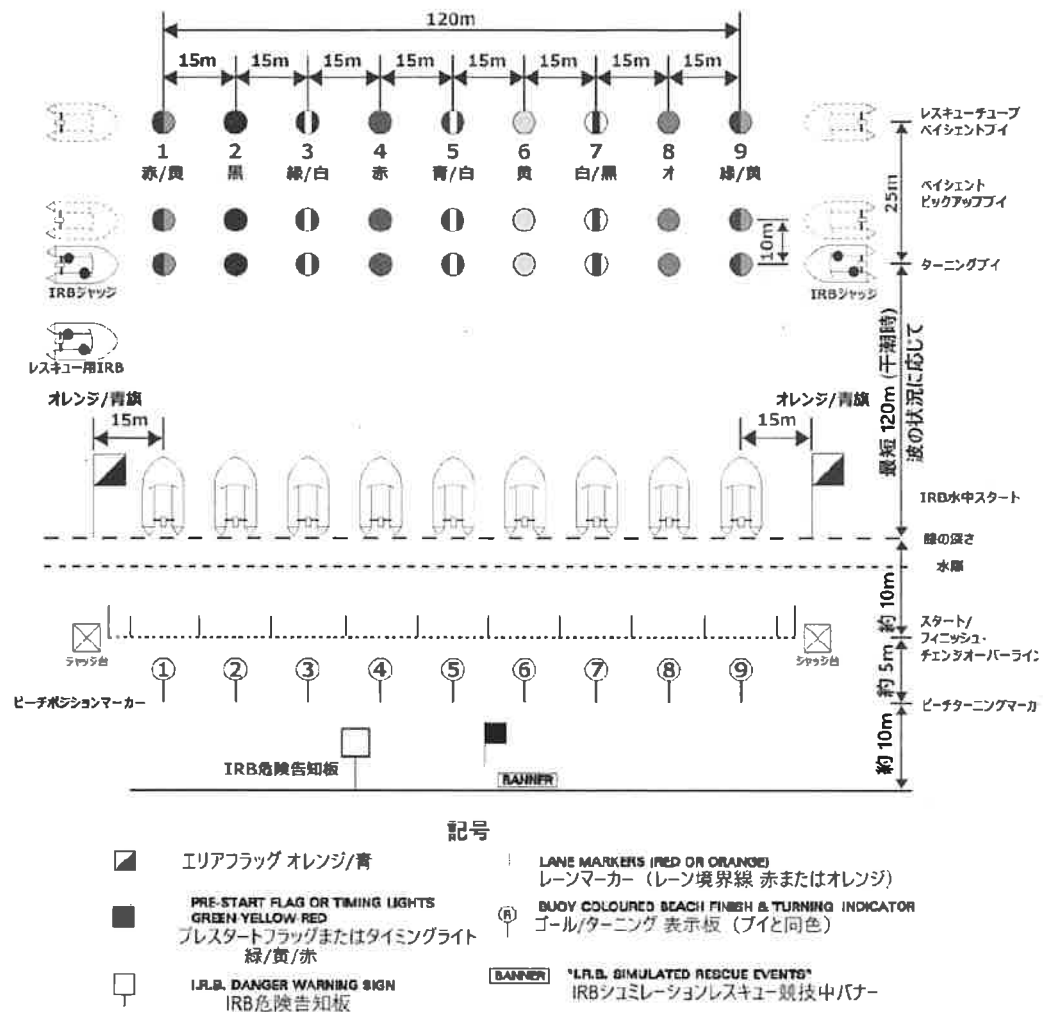


公益財団法人日本ライフセービング協会

第1回全日本ライフセービング・IRB 競技選手権大会 競技実施内容



1. 左図は一般的な競技エリアの会場配置図です。全部で9レーンあります。
2. IRB 競技とは、バイシエントブイの沖側に溺者役を配置し、IRB を使ってこの溺者役をいかに安全かつ円滑に救助するかを競う競技です。
3. 「IRB 水中スタート」の場所に IRB を配置して準備します。この IRB はハンドラーと呼ばれる補助者が乗船者の乗り込みまで保持しています。
4. スタートラインからスタートしたドライバーとクルーと呼ばれる二人の乗船者が IRB に乗り込み航行を開始します。
5. 航行開始して溺者役へ向かいますが、ターニングブイを右側から1 転回してから溺者役へ向かいます。
6. バイシエントピックアップブイの右側から転回しながら溺者役を救助してゴールへ向かいます。
7. IRB は波打ち際に乗り上げ、ドライバーがエンジンを停止したのち、ドライバーだけがゴールラインを走り抜けます。
8. 以上が基本的な競技種目「IRB レスキュー」の流れですが、IRB 競技にはこれをアレンジした「IRB マスレスキュー」、「IRB チームレスキュー」、「IRB レスキューチューブ」の合計4 種目があります。

以上

図. 一般的な競技エリア